

2 研究の概要

(1) 研究主題について

自ら考え、進んで表現できる子の育成 ～算数的活動の充実(ICTの活用を通して)～

本校では、平成21・22年度に、「国語力向上」の研究委嘱を受け、研究主題「子どもの読みを深める指導の工夫～書く活動を通して」を設定して、研究を進めた。結果として、読む力や書く力の定着が見られたため、それらの力を他教科でも生かしたいという思いが生まれた。また、児童の実態として、算数科の学習で計算は好きでも、自分の考えを表現することが困難であったり、基礎的・基本的な知識や技能の定着に個人差が見られたりするということがわかった。

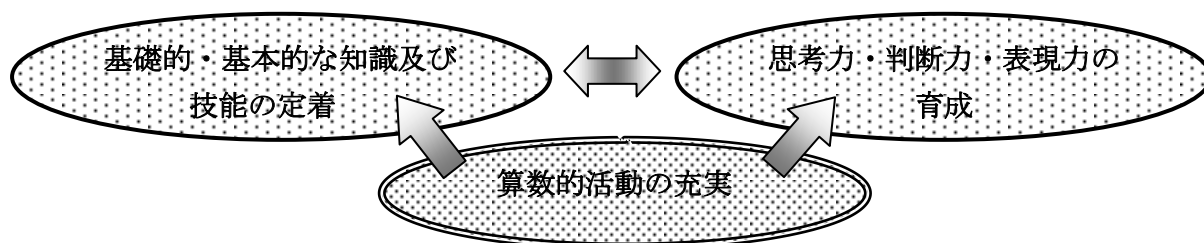
そこで、学校教育目標、児童の実態と教師の願いをもとに、平成23・24年度のさいたま市教育委員会の研究委嘱を受け、研究主題『自ら考え、進んで表現できる子の育成』、副題「算数的活動の充実（ICTの活用を通して）」を設定して研究を進めることとした。

(2) 仮説について

めざす児童像の実現化のために、仮説を設定し、検証することで研究主題に迫りたいと考えた。

研究仮説

算数的活動を充実させれば、基礎的・基本的な知識及び技能が身に付くとともに、自ら考え、進んで表現する児童が育つであろう。



(3) 組織

	校長・教頭	推進委員会				全体会				
	部	授業研究部			資料・統計部		評価部		環境整備部	
ブ ロ ッ ク	低	白坂 齋藤	長谷川 ◎内田明	○本多 濱		上村 宮本		向井 佐藤		小城 大山
	中	○広田 内田小	森 山本	黒須 鵜飼		松村 三角		関根 ○金子		
	高	清水 中野	林	田中 高谷		川島 ○平沼		松倉		郡司 國廣

◎研究主任 ○研究部主任

(4) 研究の内容について

ブ ロ ッ ク

- 研究授業の提案と検証
- 子ども一人ひとりを生かす指導と評価の工夫

専 門 部

- <授業研究部> ○指導案の形式（T・Tによる指導、少人数指導、コース別学習等）
○学習過程の提案、内容の工夫（ICTの活用を含む）
- <資料・統計部> ○アンケート内容の実施と検証（年度初め、授業学級）
- <評 価 部> ○評価方法の検討、評価簿の作成
- <環境整備部> ○学習環境の整備…教室掲示（学習の流れ、算数コーナー）
…学年掲示板の計画的な掲示（算数コーナー）
○さんすう道場の取り組み…既習事項の定着と活用する力

(5) 研究の視点について（授業の実践から）

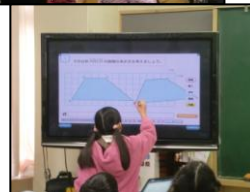
<視点1 算数的活動の充実（効果的なICTの活用を含む）>

算数的活動の充実を図ることで、児童は基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、進んで考えたりそれを表現したりすることにつながる。そこで、教材教具の工夫や、問題提示の工夫を行う。

ICTの活用では、低・中・高学年の実態に合わせた活用を行えるように、取り組みを工夫していく。

<手立て>

- 問題解決学習につながる教材教具の工夫。
- 児童が自分の言葉で課題を見付け、学習に取り組めるようにする。
- ICTの効果的な活用



<視点2 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための指導の工夫>

個に応じた支援を行うために、効果的なT・Tの充実を図り、少人数指導を行う。そこで、低・中・高学年ごとに、児童の実態に応じた少人数指導の工夫をする。

<手立て>

- T1・T2の役割分担の明確化を図る。
- 個に応じた支援や評価を行うための評価簿の作成や活用を行う。



<視点3 問題解決に必要な思考力・判断力・表現力を高めるための指導の工夫>

学習過程の定着を図るために、学校全体での流れの確認を行った。学習の流れの中で、必要に応じて個人・小グループ・全体というように学習形態を工夫する。少人数での伝え合いを授業に取り入れ、説明を考えたり、友達に伝えたりすることができるようにしていく。

<手立て>

- 自分の考えをもつためのワークシートの工夫。
- 少人数での伝え合いを取り入れる等の学習形態の工夫。

